

## 歯医者で働く私の、『マウスピース矯正生活』

～事務長が患者になって気づいたこと～（アライナー13 / 36）

### 油断大敵

最近、どうも油断しすぎている気がします。



というのも、会社に「必需品3点セット（ケース、リムーバー、顎間ゴム）」をやたらと忘れて帰ってしまう。

家に帰ってから「ハッ！」と気づく絶望感。仕方なく悪戦苦闘しながら、自力で指を使ってマウスピースを外します。開始から約4ヶ月経ちますが、まだまだ指だけで外すのは慣れない模様…。



### 砕け散ったチューイー

さらに、最近もう一つ事件がありました。

マウスピースをカチッとしっかり装着するために噛み込む用のゴム、「チューイー」が砕け散ったのです。

最初に3個セットをもらって使っていましたが、色んなサイズの物がある中で結構厚みのある5ミリくらいのゴムだったので、「こんなの壊れるものなのかな？」なんて思っていました。

た。しかし、毎日の噛み込みの蓄積は確実だったようで、見事に砕けたチューイーを見ると、時と共に役目を終えたような、なんだか少しの「哀愁」すら感じてしまいます。次のチューイーにあっさりとは交換されるだけなのに。



## 数珠繋ぎの好奇心

最近「本を読むこと」に興味注がれていて、自由な時間を結構費やしています。

最初は書店に立ち寄って、「著名な方のビジネス書を買ってみよう」と思ったのがきっかけでした。そこからどんどん展開して、本の中で紹介されている作品をチェックし、それが数珠繋ぎのように小説やエッセイへと色々な作品へ繋がり...

新しい情報の取得に衝動に駆られる。

今では、読書初心者あるあるの「積読（つんどく）」状態になる始末。

マウスピース矯正のブログで、いきなり何が言いたかった？



## このブログが繋ぐ「バトン」

何事も、一番最初、やり始めが一番楽しいものです。

それはなぜかという、**「圧倒的な好奇心」**があるから。

「これはどうなんだろう？」「あれはどうかな？」と思いを耽る。

それが更なる**原動力**となって、次へ次へと進んでいく。

用意された**「決められた正解」**を求めず、自分なりの**「答え」**を探していく過程こそが面白いんだと思います。

読書も、マウスピース矯正も、きっと同じ。

もしこのブログという場が、誰かのその**「最初のきっかけ」**や、**「バトンを繋ぐ」**役目を、ほんのひと時でも果たせたとしたら。

この上ないことだなあ...なんて、ペンを走らせる日があってもいいですね

